

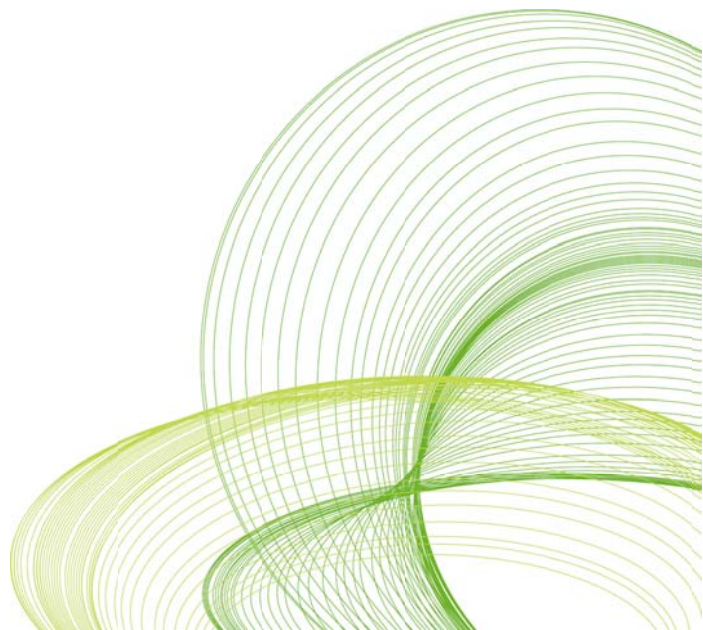


QlikView 11 アップグレードと移行

QlikView テクニカルブリーフ

2011 年 11 月発行

www.qlikview.com



はじめに

本テクニカルブリーフは、既存の QlikView 環境を、バージョン 9 または 10 からバージョン 11 へアップグレードおよび移行する際のリファレンスとベストプラクティスを提供します。すべての導入シナリオに対応する包括的なドキュメントであるだけでなく、QlikView のシステム管理者が QlikView 環境のアップグレードに関するベストプラクティスを理解できるようにすることを目的としています。

目次

はじめに	2
セクション 1 : 一般的なアップグレードと移行に関する考慮事項	4
セクション 2 : 既存の QlikView Server 9	6
考慮事項	6
QlikView 9 のアップグレード シナリオ	12
ステップ 2 : リロードスケジュールのバージョン 9 から 10/11 への移行	13
QlikView Server 9 から QlikView Server & Publisher 10 または 11 へのアップグレード	13
QlikView Server & Publisher 9 から QlikView Server & Publisher 10 または 11 へのアップグレード	15
セクション 3 : 既存の QlikView Server 10	17
考慮事項	17
QlikView 10 のアップグレード シナリオ	17
QlikView Server 10 から QlikView Server 11 へのアップグレード	17
QlikView Server 10 から QlikView Server & Publisher 11 へのアップグレード	18
QlikView Server & Publisher 10 から QlikView Server & Publisher 11 へのアップグレード	20
セクション 4 : 複数マシンのシナリオ例	21
セクション 5 : QlikView サービスの再配置	30
Directory Service Connector 10/11	32
QlikView WebServer 10/11	33

セクション 1: 一般的なアップグレードと移行に関する考慮事項

このセクションは、複数回のバージョン変更において実施されたアーキテクチャ上の変更に関する概略を示しており、QlikView のアップグレードと移行に着手する前に考慮する必要があります。

.NET Framework 要件

QlikView Server 9 から 10 または 11 へアップグレードする場合、コンポーネントをサポートするためには、適切な .NET Framework がインストールされていることを確認する必要があります。

QlikView Server version	.NET Framework version required
9	3.5
10	3.5
11	4.0

EDX トリガー

QlikView Server のバージョンによって、EDX トリガーの処理方法は異なります。以下の表は、QlikView Server の各バージョンがどの方法をサポートしているかを示しています。

QlikView Server version	HTTP POST ED X call	QMS API ED X call
9	Supported	N/A
10	Supported (legacy)	Supported
11	N/A	Supported

EDX トリガーの使用に関する詳細は、*QlikView Management Console* および *QlikView SDK* の QMS API ドキュメントをご参照ください。

サービス

QlikView Server のバージョンによって、提供されるサービスは異なります。以下の表は、提供される各種のサービスをバージョンごとに示しています。

	QlikView Server 9	QlikView Server 10	QlikView Server 11
QlikView Server	Yes	Yes	Yes
QlikView WebServer	Yes	Yes	Yes
QlikView Publisher Command Center Service	Yes	No	No
QlikView Management Service	Yes	Yes	Yes
QlikView Directory Service Connector	Yes	Yes	Yes
QlikView Distribution Service	Yes	Yes	Yes
QlikView Settings Service	No	No	Yes [※]

※QlikView WebServer の代わりに IIS を使用する場合のみ

古い Distribution Service ファイル

新しいサービスを開始する前に、もしくは QlikView Publisher や Distribution Service で問題が発生している場合は、アップグレードや移行の後で、アプリケーションのデータフォルダである DistributionService から古い作業命令と関連ファイルを削除するのがベストプラクティスと考えられています。フォルダの場所は以下の通りです。

- **Windows Server 2003/XP** : C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥QlikTech¥DistributionService
- **Windows Server 2008/Vista/7** : C:¥ProgramData¥QlikTech¥DistributionService

ログファイルはこの場所に保存されています。また、はじめにログファイルのバックアップをとってから、実際の作業を実施してください。

セクション 2 : 既存の QlikView Server 9

このセクションは、QlikView のバージョン 9 から 11 への移行を考える QlikView 管理者を対象としています（内容が類似していることから、バージョン 9 から 10 へアップグレードする際の手引書としてもご使用いただけます）。なお、このセクションでは、バージョン 10 と 11 をまとめて「10/11」と表記します。

考慮事項

多数のアーキテクチャ上の変更が、QlikView Server 10、続いて QlikView Server 11 に次々と導入されました。これにより、QlikView Server 9 からのアップグレード シナリオが影響を受けます。以下のページでは、バージョン 9 から 10 または 11 へアップグレードする際に考慮すべき重要事項について述べています。バージョン 10 と 11 の違いについては、QlikView 10 および 11 の各リリースノートをご参照ください。

QlikView Server 9 から 10 または 11 へアップグレードする手順は同様であるため、このセクションでは、バージョン 9 から 10 へアップグレードする場合、すなわちバージョン 9 から 11 へ直接アップグレードする場合のシナリオを取り上げます。

クライアント

Ajax Zfc (ゼロ フットプリント クライアント)

QlikView Server 9 と 10/11 の間で、QlikView Server のクライアント側、とりわけ Ajax Zfc クライアントに関する重要な変更が実施されました。QlikView Server 9 から 10/11 へアップグレードする場合は、Ajax Zfc クライアントの Web ブラウザのキャッシュとクッキーを必ず消去してください。これにより、クライアントマシンの古いキャッシュによって予期せぬ動作が発生するのを防げます。

IE プラグイン クライアントおよびデスクトップ クライアント

常に IE プラグイン クライアントのバージョンを QlikView Server のバージョンと合わせるようにしてください。クライアントは、ほとんどの機能で後方互換性が維持されているはずですが、しかしながら、古いバージョンのクライアントを使用した場合、ユーザーは新しいバージョンに実装された新機能を使用できない可能性があります。これは、クライアントが、より新しい QlikView Developer と QlikView Desktop、および QlikView Server がサーバークライアントに提供しているアプリケーションの新機能を使用している場合によく発生します。

IE プラグインまたは QlikView Developer/QlikView Desktop は、QlikView Server に対して前方互換性があると考えべきではありません。

サーバー URL

QlikView Server 9 のドキュメントまたは他のリソースに対して、ハードコーディングされた URL を使用する場合、それらの URL が新しいバージョンでも機能するのを確認することが重要です。アーキテクチャの変更により、これらの URL やパスのフォーマットが変更された可能性があるため、新しいリリースでもそれらの URL やパスが正しく機能するよう、変更を加えなければならない場合があります。

設定、プログラムファイル、およびアプリケーション データ

QlikView Server 9 がアンインストールされると、もしくは QlikView Server 9 の代わりに QlikView Server 10 または 11 がインストールされると、インストール パッケージは、プログラムバイナリと Windows サービスのみを削除します (プログラムファイル)。設定、構成ファイル、データファイル (.QVW ファイルなど)、およびリポジトリはアンインストールされません (アプリケーション データ)。これにより、QlikView Server 9 から 10 または 11 への簡単なインプレース アップグレードが実現します。

QlikView Server (9、10、11) のプログラムファイルは、デフォルトでは C:\Program Files\QlikView (x64 OS 上の x64 QlikView、x86 OS 上の x86 QlikView の場合)、もしくは C:\Program Files (x86)\QlikView (x64 OS 上の x86 QlikView の場合) にあります。

QlikView Server (9、10、11) のアプリケーション データは、デフォルトでは以下のフォルダにあります。

- **Windows Server 2003/XP** : C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\QlikTech
- **Windows Server 2008/Vista/7** : C:\ProgramData\QlikTech

アプリケーション データ フォルダの再配置

QlikView Server のアプリケーション データ用のフォルダ構造は、バージョン 10/11 で変更されました。QlikView サービスのアプリケーション データ用フォルダは、以下の表の通りに変更されました。

注 : [AppDataFolder]は、上記の箇条書きの各フォルダに変換されます。

QlikView Server 9	QlikView Server 10/11
[AppDataFolder]\Qvs	[AppDataFolder]\QlikViewServer
[AppDataFolder]\QvWebServer	[AppDataFolder]\WebServer
[AppDataFolder]\QlikviewManagementService	[AppDataFolder]\ManagementService
[AppDataFolder]\Publisher\Qlikview Distribution Service	[AppDataFolder]\DistributionService
[AppDataFolder]\Publisher\CommandCenter	N/A
[AppDataFolder]\DirectoryServiceConnector	Unchanged

アップグレード後に、マシンから QlikView Server 9 の古いレガシーフォルダを削除することが推奨されます (フォルダのデータのバックアップを保持している場合)。Directory Service Connector フォルダのみは、バージョン 10/11 でも同じ名前です。

QlikView Server 設定

QlikView Server 9 では、QlikView Server のコアサービス設定は、Windows レジストリに以下のキーで保存されています。

HKEY_LOCAL_MACHINE¥Software¥QlikTech¥QlikViewServer¥Settings 7

QlikView Server 10/11 では、設定は以下のフォルダのいずれかにある Settings.ini ファイルに保存されています。

- **Windows Server 2003/XP** : *C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥QlikTech¥QlikViewServer*
- **Windows Server 2008/Vista/7** : *C:¥ProgramData¥QlikTech¥QlikViewServer*

QlikView Server 10/11 のサービスが起動されると、バージョン 9 の設定キーをレジストリで検索します。キーが見つからない場合は、設定を Settings.ini ファイルに移行します。

つまり、QlikView Server が新しいサーバーに移行されるシナリオでは、QlikView Server サービスの設定を存続させる場合、Settings 7 のレジストリキーは古いサーバーに配置されるとともに、QlikView Server 10/11 で使用される新しいサーバーで設定される必要があります。

QvWebServer 設定

QlikView WebServer 9 サービスの設定は、*C:¥ProgramData¥QlikTech¥QvWebServer* の config.xml ファイルに保存されています。QlikView WebServer 10/11 サービスが起動時にこのフォルダでこのファイルを見つけると、設定をサービスの新しい構成ファイルに移行します。

つまり、サービスが移行されるシナリオでは、QlikView WebServer の設定を存続させる場合、config.xml ファイルは発見され、QlikView WebServer 10/11 で使用される新しいサーバー上のバージョン 9 のレガシーフォルダにコピーされる必要があります。

IIS の仮想フォルダ設定

IIS (Microsoft Internet Information Services) が QlikView Accesspoint 用の Web サーバーとして使用される場合、これらの設定も同様に考慮される必要があります。QlikView Server 10/11 のインストール パッケージは、QlikView Server 9 の仮想ディレクトリやアプリケーション プールを IIS から削除しません。アップグレードの際は、サードパーティの最終的なレガシー ファイルをアップグレードまたは移行する前に、バージョン 9 のレガシーディレクトリとアプリケーション プールを IIS で忘れずにすべて削除してください。

以下の表では、QlikView Server のバージョンごとの IIS 仮想フォルダについてまとめています。

	QlikView Server 9	QlikView Server 10	QlikView Server 11
QlikView	C:\Program Files\QlikView\Web	C:\Program Files\QlikView\Web	C:\Program Files\QlikView\Web
QvAjaxZfc *	C:\Program Files\QlikView\Server\QvClients\QvAjaxZfc	C:\Program Files\QlikView\Server\QlikViewClients\QlikViewAjax	C:\Program Files\QlikView\Server\QlikViewClients\QlikViewAjax
QlikView Desktop	N/A	C:\Program Files\QlikView\Server\QlikViewClients\QlikViewDesktop	N/A
QvAnalyzer	C:\Program Files\QlikView\Server\QvClients\QvAnalyzer	N/A	N/A
QvClients	C:\Program Files\QlikView\Server\QvClients	C:\Program Files\QlikView\Server\QlikViewClients	N/A
QvJava	C:\Program Files\QlikView\Server\QvClients\QvJava	N/A	N/A
QvPlugin	C:\Program Files\QlikView\Server\QvClients\QvPlugin	C:\Program Files\QlikView\Server\QlikViewClients\QlikViewPlugin	C:\Program Files\QlikView\Server\QlikViewClients\QlikViewPlugin
QvPrint	C:\ProgramData\QlikTech\Qvs\QvPrint	N/A	N/A

* QlikView Server 9 では、このフォルダの名前は QvAJAZfc です。大文字と小文字が区別されることに注意してください。

追加設定

UI 外部の構成設定の中には、プログラムファイルのフォルダの下に保存されている構成ファイルで設定されるものもあります。そのような設定が構成されている場合は、構成ファイルをバックアップし、後から特定の設定を再適用するようにしてください。

新しいシステムで、それらの構成ファイルを古いシステムの構成ファイルで置き換えしないでください。代わりに、手作業で設定を新しい構成ファイルに再適用することをご検討ください。そうすることで、新しいバージョンで特定の設定が移動または変更されることを回避できます。

削除されたサービス : QlikView Publisher Command Center Service

QlikView Server 10 と 11 において、1 つのサービスが別のサービスに統合され、QlikView Publisher Command Center Service が QlikView Management Service の一部になりました。QlikView Server 9 では、同じ Command Center Service をポイントしていれば複数の QlikView Management Service を実行することができましたが、この変更により、QlikView Server 10/11 ではライセンス環境ごとに QlikView Management Service を 1 つのみ実行できるようになりました。

この変更は、アップグレードおよび移行のシナリオにおいて、以下に挙げるいくつかの影響を及ぼします。

1. QVPR データベース (QlikView Publisher Repository) の所有権が QlikView Management Service に変更されます。つまり、QlikView Server 10/11 では、QVPR データベースが、Publisher Command Center のアプリケーション データ フォルダから QlikView Management Service のアプリケーション データ フォルダに移動されます。
2. QlikView Publisher Command Center のプログラムファイルとアプリケーション データ フォルダがなくなります。
3. QlikView Publisher Command Center のサービスがなくなります。

QVPR データベース

QVPR データベースの移行は、QlikView Publisher のライセンスが有効である環境においてのみ適切です。

QlikView Publisher を使用している場合は、QVPR データベースを QlikView Publisher Command Center 9 から QlikView Management Service 10/11 へ移行する必要があります。これは、バージョン 10/11 へのインプレース アップグレードでは自動的に行われますが、移行シナリオでは手作業で実行する必要があります。

QlikView Management Service 10/11 は、バージョン 9 の QVPR、およびその他の必要なファイルをバージョン 9 の古いフォルダ構造に配置し、バージョン 10/11 のフォーマットに移行しようとしています。これは、QlikView Management Service 10/11 が初めて起動されるときに行われます。バージョン 9 の QVPR が見つからない場合、新しい QVPR データベースをバージョン 10/11 のフォーマットで作成します。

この手順の詳細については、この後の QlikView Publisher のアップグレード シナリオにおいて説明します。

リロードタスクは、バージョン 9 では XML ファイルに保存されていましたが、バージョン 10/11 では QVPR に保存されます。そのため、QlikView Publisher のライセンスを持たない環境では、リロードタスクを QVPR に反映させるために、QlikView Management Console の QVS Resource 設定を通じて移行する必要があります。

Source Documents フォルダの場所

QlikView Publisher 9 では、Source Documents フォルダは以下のフォルダにありました。

- **Windows Server 2003/XP** : C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\QlikTech\Publisher\Sourcedocuments
- **Windows Server 2008/Vista/7** : C:\ProgramData\QlikTech\Publisher\Sourcedocuments

QlikView Publisher 10/11 では、以下のように変更されました。

- **Windows Server 2003/XP** : C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\QlikTech\SourceDocuments
- **Windows Server 2008/Vista/7** : C:\ProgramData\QlikTech\SourceDocuments

これらのフォルダ設定は、QVPR データベースに保存され、QlikView Publisher 9 を 10/11 へ移行する際には変更されないことに注意してください。Source Documents をバージョン 10 のデフォルトのフォルダに置きたい場合は、これらのフォルダを手作業で再マッピングする必要があります。または、移行シナリオの新しいシステムに、バージョン 9 のレガシーフォルダを手作業で作成してください。

QlikView Management Console 要件

QlikView Server 9 以降、QlikView Management Console および QlikView Enterprise Management Console は Internet Explorer 6 をサポートしていません。管理アクセスが許可されているマシンでのアップグレードを検討するか、サポートされている他の Web ブラウザを使用してください。

ブラウザのサポートに関する詳細情報は、QlikView Server の各リリースのリファレンス マニュアルまたはリリースノートに記載されています。

追加されたサービス : QlikView Settings Service

オプションの追加サービスとして、QlikView Settings Service が導入されました。このサービスは、QlikView Accesspoint の処理に IIS が使用されている場合の Web サーバー設定の管理サービスとして機能することを目的としています。IIS サポートが選択された場合（またはサービスそのものが明示的にインストールされている場合）にのみインストールされ、QlikView WebServer と同じ構成ファイルを使用します。

注 : QlikView Settings Service についての詳細は、QlikView Server 11 のリファレンス マニュアルをご覧ください。

QlikView 9 のアップグレード シナリオ

QlikView Server 9 から QlikView Server 10 または 11 へのアップグレード

現行のインストール : QlikView Server 9

アップグレード先 : QlikView Server 10 または QlikView Server 11

OS : Windows Server 2008 R2 x64

シナリオ

このシナリオでは、単一ホストにインストールされた QlikView Server 9 を QlikView Server 10 または 11 へインプレース アップグレードします。これは、すべての QlikView サービスが同一サーバーに存在する単一マシン構成です。すべてのサーバー設定は同じままとし、ドキュメント内の構成済みリロードスケジュールは現行のまま維持します。この QlikView Server には QlikView Publisher のライセンスがなく、アップグレード後もライセンスがありません。

手順の概要

1. QlikView Server のアップグレード
2. リロードスケジュールのバージョン 9 から 10/11 への移行

ステップ 1 : QlikView Server のアップグレード

1. Windows サービスの管理コンソールで、QlikView Server 9 のサービスをすべて停止します。
2. オプション : Windows の[Control Panel]から、または QlikView Server 9 インストール パッケージを実行し、[Remove]オプションを選択して、QlikView Server 9 をアンインストールします。
3. QlikView Server 10/11 のインストール パッケージを実行します。
4. インストールの[Profile(s)]ステップで、オプション[Full install(ation)]を選択します。
5. インストールの[Logon Information]ステップで、QlikView サービスで使用するサービスアカウントの資格情報を入力します。このアカウントは、グループ、*QlikView Administrators* に自動的に追加されます。マシンのローカルグループ、*Administrators* には追加されないことに注意してください。
6. インストールの終了後、マシンを再起動することをお勧めします。
7. サービスが使用可能かどうかを検証するために、Windows の[Start menu]→[QlikView]から QlikView Enterprise Management Console (バージョン 11 の場合は QlikView Management Console) を開き、[Status]→[Services]に移動します。以下の 3 つのサービスのステータスが[Running]となっているはずです。
 - a. DSC (QlikView Directory Service Connector)
 - b. QVS (QlikView Server)
 - c. QVWS (QlikView Web Serve)
8. QlikView Server 11 を実行している場合、4 つ目のサービスとして以下のサービスも表示されます。
 - a. QMS (QlikView Management Service)

ステップ 2 : リロードスケジュールのバージョン 9 から 10/11 への移行

1. ドキュメントのリロードスケジュールを移行します。QlikView Publisher を使用していないため、これは QVPR データベースの移動を伴わない別のステップです。[System]タブから[Setup]→[QlikView Servers]→[QVS@[machine]]→[General]を選択します。
2. [Migrate Schedules]ヘッダーで[Migrate]を選択します。
3. [Documents]→[User Documents]→[QVS@[machine]]と移動して、QlikView Server 9 でリロードがスケジュールされているドキュメントのアイコンを確認します。スケジュールは、ドキュメントのアイコン上の小さいタイマーにより示されます。[Reload]タブをクリックして、[Reload Schedule]設定を確認します。
4. QlikView Server サービスの設定が、レジストリ（バージョン 9）から新しい Settings.ini ファイル（バージョン 10/11）に移行されます。

QlikView Server 9 から QlikView Server & Publisher 10 または 11 へのアップグレード

現行のインストール : QlikView Server 9

アップグレード先 : QlikView Server & Publisher 10 または 11

OS : Windows Server 2008 R2 x64

シナリオ

このシナリオでは、単一ホストにインストールされた QlikView Server 9 を QlikView Server 10 または 11 へインプレース アップグレードするとともに、QlikView Publisher へアップグレードします。これは、すべての QlikView サービスが同一サーバーに存在する単一マシン構成です。すべてのサーバー設定は同じままとし、ドキュメントの構成済みリロードスケジュールは現行のまま維持します。

このシナリオには、QlikView Power Tool Reload Schedule Migration Tool が必要です。このツールは、QlikView Power Tool パッケージに含まれています。QlikView Power Tool パッケージは、こちらの QlikView Community サイトからダウンロード可能です。

手順の概要

1. QlikView Server のアップグレード
2. リロードスケジュールのバージョン 9 から 10/11 への移行
3. リロードスケジュールの QlikView Publisher タスクへの移行

ステップ 1 : QlikView Server のアップグレード

「QlikView Server 9 から QlikView Server 10/11 へのアップグレード」の手順に従い、「ステップ 1 : QlikView Server のアップグレード」の指示を実行します。

ステップ 2 : リロードスケジュールのバージョン 9 から 10a への移行

「QlikView Server 9 から QlikView Server 10/11 へのアップグレード」の手順に従い、「ステップ 2 : リロードスケジュールのバージョン 9 から 10/11 への移行」の指示を実行します。

ステップ 3 : QlikView Publisher の有効化、およびリロードスケジュールの QlikView Publisher タスクへの移行

1. マシンで *Reload Schedule Migration Tool* を実行します。
2. ツールにおいて、ステップ 1 のボタンを使用して、QlikView Server のインストール用の QVPR フォルダを参照して選択します。フォルダは以下のフォルダのいずれかにあります。
 - **Windows Server 2003/XP** : C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\QlikTech\ManagementService\QVPR
 - **Windows Server 2008/Vista/7** : C:\ProgramData\QlikTech\ManagementService\QVPR
3. ステップ 1 のチェックボックスが自動的にオンになります。
4. ステップ 2 では、新しいシステムを反映させるよう、Source Documents フォルダを変更または追加します。ステップ 2 のチェックボックスをオンにします。
5. ステップ 3a では、QlikView Enterprise Management Console (バージョン 11 の場合は QlikView Management Console) に戻り、[System]→[Licenses]→[QlikView Publisher]と移動し、QlikView Publisher のライセンス情報を入力します。[Apply License]をクリックしてツールへ戻り、ステップ 3a のチェックボックスをオンにします。
6. ステップ 3b では、Windows サービス管理コンソールを開き、*QlikView Management Service* を停止します。ツールへ戻り、ステップ 3b のチェックボックスをオンにします。
7. ステップ 3c ではマシンへ戻り、ステップ 2 のマッピングに従い、影響を受けたドキュメントを User Documents フォルダから Source Documents フォルダへ手作業でコピーします。ステップ 3c のチェックボックスをオンにします。
8. タスクを移行する準備ができました。[Recreate Tasks Now]をクリックします。ステップ 4 のチェックボックスが自動的にオンになります。
9. ステップ 5 では、Windows サービス管理コンソールを開き、*QlikView Management Service* を起動します。ツールへ戻り、ステップ 5 のチェックボックスをオンにします。移行が完了したことを知らせるメッセージを受け取ります。
10. QlikView Enterprise Management Console (バージョン 11 の場合は QlikView Management Console) へ戻り、[Documents]→[Source Documents]と移動し、移動されたドキュメントのリロードタスクを見つけます。

注 : <Orphaned>ノードでタスクを見つけた場合、正しい Source Documents フォルダが Distribution Service にマッピングされていることを確認してください。

QlikView Server & Publisher 9 から QlikView Server & Publisher 10 または 11 へのアップグレード

現行のインストール : QlikView Server & Publisher 9

アップグレード先 : QlikView Server & Publisher 10 または 11

OS : Windows Server 2008 R2 x64

シナリオ

このシナリオでは、単一ホストにインストールされた QlikView Server 9 を QlikView Server 10 または 11 へインプレース アップグレードするとともに、QlikView Publisher のすべてのタスクを移行します。これは、すべての QlikView サービスが同一サーバーに存在する単一マシン構成です。すべてのサーバー設定は同じままとなり、QlikView Publisher のすべてのタスクとトリガーは現行のまま維持されます。

QlikView Server および Publisher 9 を 10 または 11 へインプレース アップグレードする場合、QlikView Publisher のタスクは自動的に移行されます。つまり、QVPR データベースはバージョン 10 または 11 のフォーマットに移行されます。

手順の概要

1. QlikView Server のアップグレード
2. QlikView Publisher タスクの移行検証

ステップ 1 : QlikView Server のアップグレード

「QlikView Server 9 から QlikView Server 10 または 11 へのアップグレード」の手順に従い、「ステップ 1 : QlikView Server のアップグレード」の指示を実行します。

ステップ 2 : QlikView Publisher タスクの移行検証

QlikView Server 10/11 の Management Service は、初回の起動時に、サーバーに残っているバージョン 9 の QVPR データベースを、以下の OS に応じたバージョン 9 のレガシーフォルダに配置しようと試みます。

- **Windows Server 2003/XP** : C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\QlikTech\Publisher\CommandCenter
- **Windows Server 2008/Vista/7** : C:\ProgramData\QlikTech\Publisher\CommandCenter

Management Service は、以下の 2 つのコンポーネントを検索します。

1. QVPR という名前のフォルダ
2. `qvpr_<machine>.ini` という名前の .ini ファイル (<machine> は Management Service がインストールされている現在のマシンのホスト名)

これら 2 つのコンポーネントを見つけると、QlikView Server 10/11 の Management Service は自動的に QVPR データベースをバージョン 10/11 のフォーマットにアップグレードし、新しいフォルダへ移動します。

1. マシンで `C:\ProgramData\QlikTech\Publisher\CommandCenter` フォルダを参照します。`qvpr_<machine>.ini` ファイルの名前が `qvpr_<machine>.migrated.ini` に変更されたことを確認します。これは、移行が実施されたことを表しています。
2. `C:\ProgramData\QlikTech\ManagementService\QVPR` フォルダを参照します。このフォルダは、バージョン 10/11 での QVPR の新しい場所です。ファイル `About.xml` をテキストエディタで開きます。このファイルには、QVPR がアップグレードを経験したバージョンが記載されています。インストールの日付と QlikView Publisher のバージョンを表す最後の `VersionRow` ノードを確認し、XML ファイルが正しくアップグレードされたことを確認します。
3. Windows の [Start] → [QlikView] から *QlikView Server Enterprise Management Console* を開きます。
4. サービスが使用可能かどうかを検証するために、Windows の [Start menu] → [QlikView] から *QlikView Enterprise Management Console* (バージョン 11 の場合は *QlikView Management Console*) を開き、[Status] → [Services] と移動します。以下の 4 つのサービスのステータスが [Running] となっているはずです。
 - a. DSC (QlikView Directory Service Connector)
 - b. QDS (QlikView Distribution Service)
 - c. QVS (QlikView Server)
 - d. QVWS (QlikView Web Serve)
5. QlikView Server 11 を実行している場合、5 つ目のサービスとして以下のサービスも表示されます。
 - a. QMS (QlikView Management Service)
6. [Documents] → [Source Documents] と移動し、タスクを確認します。

セクション 3 : 既存の QlikView Server 10

このセクションは、QlikView のバージョン 10 からバージョン 11 への移行を検討している QlikView 管理者を対象としています。

考慮事項

QlikView Server 10 から 11 においては、アップグレードのシナリオに顕著に影響を及ぼす、アーキテクチャ上の大きな変更はありません。バージョン 10 と 11 の違いについては、QlikView 11 のリリースノートをご参照ください。

QlikView 10 のアップグレード シナリオ

QlikView Server 10 から QlikView Server 11 へのアップグレード

現行のインストール : QlikView Server 10

アップグレード先 : QlikView Server 11

OS : Windows Server 2008 R2 x64

QlikView Server 10 から QlikView Server 11 へのアップグレード

シナリオ

このシナリオでは、単一ホストにインストールされた QlikView Server 10 を QlikView Server 11 へインプレース アップグレードします。これは、すべての QlikView サービスが同一サーバーに存在する単一マシン構成です。すべてのサーバー設定は同じままとし、ドキュメントの構成済みリロードスケジュールは現行のまま維持します。この QlikView Server には QlikView Publisher のライセンスがなく、アップグレード後もライセンスがありません。

手順の概要

1. QlikView Server のアップグレード
2. リロードスケジュールのバージョン 10 から 11 への移行

ステップ 1 : QlikView Server のアップグレード

1. Windows サービスの管理コンソールで、QlikView Server 10 のサービスを停止します。
2. オプション : Windows の[Control Panel]から、または QlikView Server 10 インストールパッケージを実行し、[Remove]オプションを選択して、QlikView Server 10 をアンインストールします。
3. QlikView Server 11 のインストール パッケージを実行します。注 : QlikView Server の旧バージョンがアンインストールされていない場合は、オプション[Uninstall earlier version during installation]を選択します。
4. インストールの[Profile]ステップにて、オプション[Full installation]および[Single Machine]を選択します。注 : このシナリオでは、QlikView WebServer のオプションを使用します。
5. インストールの[Logon Information]ステップで、QlikView サービスで使用するサービスアカウントの資格情報を入力します。このアカウントは、グループ、QlikView Administrators に自動的に追加されます。注 : マシンのローカルグループ、Administrators には追加されないことに注意してください。

6. インストールの終了後、マシンを再起動します。
7. サービスが使用可能かどうかを検証するために、Windows の[Start menu]→[QlikView]から *QlikView Management Console* を開き、[Status]→[Services]と移動します。以下の 4 つのサービスのステータスが[Running]となっているはずですが。
 - a. DSC (QlikView Directory Service Connector)
 - b. QMS (QlikView Management Service)
 - c. QVS (QlikView Server)
 - d. QVWS (QlikView Web Serve)
8. タスクが移行されたことを確認します。 *QlikView Management Console* を開き、[Documents]→[User Documents]と移動します。タスクを含むドキュメントには、小さいタイマーの付いた別のアイコンが表示されます。

注：バージョン 10 のリロードタスクは QVPR データベースに保存されているため、バージョン 10 と 11 の間でリロードスケジュールを移行する必要はありません。リロードスケジュールは、アップグレード プロセスで保持され、別のステップは必要ありません。

QlikView Server 10 から QlikView Server & Publisher 11 へのアップグレード

現行のインストール：QlikView Server 10

アップグレード先：QlikView Server & Publisher 11

OS：Windows Server 2008 R2 x64

シナリオ

このシナリオでは、単一ホストにインストールされた QlikView Server 10 を QlikView Server 11 へインプレース アップグレードするとともに、QlikView Publisher へアップグレードします。これは、すべての QlikView サービスが同一サーバーに存在する単一マシン構成です。すべてのサーバー設定は同じままとし、ドキュメント内の構成済みリロードスケジュールは現行のまま維持します。

このシナリオには、QlikView Power Tool Reload Schedule Migration Tool が必要です。このツールは、QlikView Power Tool パッケージに含まれています。QlikView Power Tool パッケージは、こちらの QlikView Community サイトからダウンロード可能です。

手順の概要

1. QlikView Server のアップグレード
2. QlikView Publisher の有効化、およびリロードスケジュールの QlikView Publisher タスクへの移行

ステップ 1：QlikView Server のアップグレード

1. 「QlikView Server 10 から QlikView Server 11 へのアップグレード」の手順に従い、「ステップ 1：QlikView Server のアップグレード」の指示を実行します。

ステップ 2 : QlikView Publisher の有効化、およびリロードスケジュールの QlikView Publisher タスクへの移行

1. マシンで Reload Schedule Migration Tool を実行します。
2. ツールにおいて、ステップ 1 のボタンを使用して、QlikView Server のインストール用の QVPR フォルダを参照して選択します。フォルダは以下にあります。
 - a. Windows Server 2003/XP : *C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\QlikTech\ManagementService\QVPR*
 - b. Windows Server 2008/Vista/7 : *C:\ProgramData\QlikTech\ManagementService\QVPR*
3. ステップ 1 のチェックボックスをオンにします。
4. ステップ 2 では、新しいシステムを反映させるよう、Source Documents フォルダを変更または追加します。ステップ 2 のチェックボックスをオンにします。
5. ステップ 3a では、QlikView Enterprise Management Console (バージョン 11 の場合は QlikView Management Console) に戻り、[System]→[Licenses]→[QlikView Publisher]と移動し、QlikView Publisher のライセンス情報を入力します。[Apply License]をクリックしてツールへ戻り、ステップ 3a のチェックボックスをオンにします。
6. ステップ 3b では、Windows サービス管理コンソールを開き、*QlikView Management Service* を停止します。ツールへ戻り、ステップ 3b のチェックボックスをオンにします。
7. ステップ 3c ではマシンへ戻り、ステップ 2 のマッピングに従い、影響を受けたドキュメントを User Documents フォルダから Source Documents フォルダへ手作業でコピーします。ステップ 3c のチェックボックスをオンにします。
8. タスクを移行する準備ができました。ステップ 4 のチェックボックスをオンにし、[Recreate Tasks Now]をクリックします。タスクの移行が成功したことを知らせるメッセージを受け取ります。
9. ステップ 5 では、Windows サービス管理コンソールを開き、*QlikView Management Service* を起動します。ツールへ戻り、ステップ 5 のチェックボックスをオンにします。
10. QlikView Enterprise Management Console へ戻り、[Documents]→[Source Documents]と移動し、移動されたドキュメントのリロードタスクをご確認ください。

QlikView Server & Publisher 10 から QlikView Server & Publisher 11 へのアップグレード

現行のインストール : QlikView Server & Publisher 10

アップグレード先 : QlikView Server & Publisher 11

OS : Windows Server 2008 R2 x64

シナリオ

このシナリオでは、単一ホストにインストールされた QlikView Server 10 を QlikView Server 11 へインプレース アップグレードするとともに、QlikView Publisher のすべてのタスクを移行します。これは、すべての QlikView サービスが同一サーバーに存在する単一マシン構成です。すべてのサーバー設定は同じままとなり、QlikView Publisher のすべてのタスクとトリガーは現行のまま維持されます。

QlikView Server および Publisher 10 を 11 へインプレース アップグレードする場合、QlikView Publisher のタスクは自動的に移行されます。つまり、QVPR データベースはバージョン 11 のフォーマットに移行されます。

手順の概要

1. QlikView Server のアップグレード
2. QlikView Publisher タスクの移行検証

ステップ 1 : QlikView Server のアップグレード

1. 「QlikView Server 10 から QlikView Server 11 へのアップグレード」の手順に従い、「ステップ 1 : QlikView Server のアップグレード」の指示を実行します。

ステップ 2 : QlikView Publisher タスクの移行検証

QlikView Server 11 の Management Service は、初回の起動時に、サーバーに残っているバージョン 9 の QVPR データベースをバージョン 9 のレガシーフォルダに移動しようとします。フォルダ、`C:\ProgramData\QlikTech\Publisher\CommandCenter` folder で以下の 2 つのコンポーネントを検索します。

- QVPR という名前のフォルダ
- `qvpr_<machine>.ini` という名前の .ini ファイル (<machine>は Management Service がインストールされている現在のマシンのホスト名)

これら 2 つのコンポーネントを見つけると、QlikView Server 10/11 の Management Service は自動的に QVPR データベースをバージョン 10/11 のフォーマットにアップグレードし、新しい場所へ移動します。

1. マシンで `C:\ProgramData\QlikTech\Publisher\CommandCenter` フォルダを参照します。`qvpr_<machine>.ini` ファイルの名前が `qvpr_<machine>.migrated.ini` に変更されたことを確認します。これは、移行が実施されたことを表しています。
2. `C:\ProgramData\QlikTech\ManagementService\QVPR` フォルダを参照します。このフォルダは、バージョン 10/11 での QVPR の新しい場所です。ファイル `About.xml` をテキストエディタで開きます。このファイルには、QVPR がアップグレードを経験したバージョンが記載されています。インストールの日付と QlikView Publisher のバージョンを表す最後の `VersionRow` ノードを確認し、XML ファイルが正しくアップグレードされたことを確認します。
3. Windows の [Start] → [QlikView] から *QlikView Server Enterprise Management Console* を開きます。
4. [Status] → [Services] と移動し、4 つのタスクが実行されていることを確認します。
5. [Documents] → [Source Documents] と移動し、タスクを確認します。

セクション 4 : 複数マシンのシナリオ例

このセクションは、さまざまな QlikView サービスをホストするために複数マシンを使用している環境、もしくは複数マシンの導入シナリオを初めて検討している状況において、既存の導入を移行する QlikView 管理者を対象としています。(注 : QlikView Server のクラスタリング環境に関する考察は目的としていません)。

QlikView サービスの移行に関するベストプラクティスは、セクション 5 : QlikView サービスの再配置にて紹介しています。

考慮事項

1 度に 1 つのサービス

複数マシンをアップグレードまたは移行する際は、1 度に 1 つのサービスを計画するのが適切です。異なるサービスはすべて、アップグレードや移行を完了するために順にアップグレードされなければならない別々の役割であると考えてください。

複数マシンのアップグレード—QlikView Server & Publisher バージョン 10 からバージョン 11 へ

複数マシンのシナリオ

QlikView Server 10 がインストールされ、すべてのサービスが以下のようにサーバーに分散されている環境のシナリオについて考えます。



© 2011. QlikTech, Inc.

Server	Service(s)
Machine1	QlikView Server 10, Directory Service Connector 10
Machine2	QlikView WebServer 10
Machine3	QlikView Distribution Service 10, QlikView Management Service 10

アップグレード後の構成は以下のようになります。



© 2011. QlikTech, Inc.

Server	Service(s)
Machine1	QlikView Server 11, Directory Service Connector 11
Machine2	QlikView WebServer 11
Machine3	QlikView Distribution Service 11, QlikView Management Service 11

シナリオ

このアップグレード シナリオは、1 度に 1 つのマシンのサービスをアップグレードする 3 つの手順からなるシンプルなものです。

注：バージョン 10 から 11 へアップグレードするこのシナリオと、バージョン 9 から 10/11 へアップグレードするシナリオとに大きな違いはありません。インプレース アップグレードは、サービスの開始時に、旧バージョンの既存構成ファイルが新しいものに自動移行されることで促進されます。

手順の概要

1. Machine1 の QlikView Server および Directory Service Connector のインプレース アップグレード実施
2. Machine2 の QlikView WebServer のインプレース アップグレード実施
3. Machine3 の QlikView Distribution Service および QlikView Management Service のインプレース アップグレード実施

ステップ 1 : Machine1 のアップグレード

1. Machine1 のサービスをすべて停止します。
2. QlikView Server 11 のインストール パッケージを実行します。インストール パッケージが旧バージョンの QlikView Server を検出するので、オプション[Uninstall earlier version]を選択します。
3. インストールの[Profiles]ステップにて、オプション[Custom installation]を選択し、以下のプロファイルのみを選択してインストールします。
 - a. QlikView Server

注：Directory Service Connector はこのプロファイルに含まれています。[Full Installation]を選択しないでください。選択すると、すべてのサービスがインストールされません。
4. Machine1 を再起動します。再起動後、サービスは自動的に起動されます。

ステップ 2 : Machine2 のアップグレード

1. Machine2 のサービスをすべて停止します。
2. QlikView Server 11 のインストール パッケージを実行します。インストール パッケージが旧バージョンの QlikView Server を検出するので、オプション[Uninstall earlier version]を選択します。
3. インストールの[Profiles]ステップにて、オプション[Custom installation]を選択し、以下のプロファイルのみを選択してインストールします。
 - a. Webserver
4. Machine2 を再起動します。再起動後、サービスは自動的に起動されます。

ステップ 3 : Machine3 のアップグレード

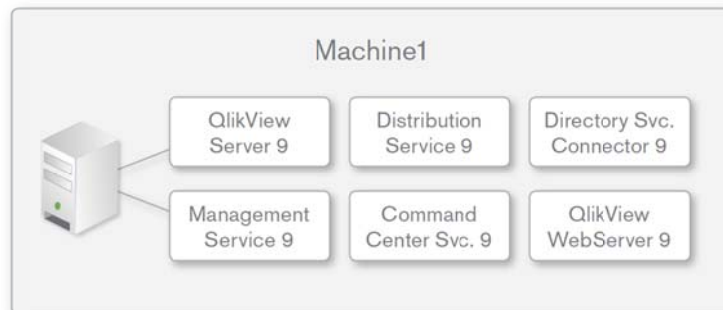
1. Machine3 のサービスをすべて停止します。
2. QlikView Server 11 のインストール パッケージを実行します。インストール パッケージが旧バージョンの QlikView Server を検出するので、オプション[Uninstall earlier version]を選択します。
3. インストールの[Profiles]ステップにて、オプション[Custom installation]を選択し、以下のプロファイルのみを選択してインストールします。
 - a. Reload/Distribution Engine
 - b. Management Console
4. Machine3 を再起動します。再起動後、サービスは自動的に起動されます。

マシンの移行—QlikView Server & Publisher バージョン 9 からバージョン 10 へ

スケールアウト シナリオ

すべての QlikView サービスが単一マシン上にある環境を、アップグレード時にサービスを複数マシンに分散させることで、スケールアウトするシナリオを考えます。シナリオの工程で QlikView Server 9 を 10/11 へアップグレードします。QlikView Publisher 9 はすでに使用しています。

以下は、アップグレードおよび移行前の構成です。



© 2011. QlikTech, Inc.

Server	Service(s)
Machine1	QlikView Server 9, Directory Service Connector 9, QlikView WebServer 9, QlikView Distribution Service 9, QlikView Management Service 9

アップグレードおよび移行後の構成は以下のようになります。



© 2011. QlikTech, Inc.

Server	Service(s)
Machine1	QlikView Server 10, Directory Service Connector 10
Machine2 <i>*new!*</i>	WebServer 10
Machine3 <i>*new!*</i>	Distribution Service 10, Management Service 10

このシナリオでは、アップグレード中に完全な使用環境を提供しません。代わりに、すべての QlikView サービスをシャットダウンしてアップグレードと移行を完了し、再び運用できる環境に整えます。

シナリオ

QlikView WebServer、Distribution Service、Management Service を、元のマシンから 2 台の新規マシンに移行する必要があります。よって、これらのサービスを Machine1 から永久にアンインストールする必要があります。また、Command Center Service は QlikView Server 10/11 では提供されていないため、全サービスがなくなります。

QlikView Server と Directory Service Connector は移行されず、アップグレードされて Machine1 に残ります。

QlikView Publisher Command Center 9 と付随の QVPR データベースは Machine1 に存在するため、QVPR データベースを QlikView Management Service 10 が配置される Machine3 に移動する必要があります。QVPR データベースの所有権は、Command Center 9 から Management Service 10/11 に移動していることに注意してください。

Machine2 は QlikView WebServer や IIS をホストし、これらのコンポーネントを標準インストールします。

また、Source Documents フォルダをこの新しい環境のどの場所に配置するかを検討する必要があります。Distribution Service は Machine3 へ移動されるため、Source Documents フォルダも同じ場所に配置するのが自然です。

QlikView サービスはクラスタ化されていないため、共有ストレージの利用は、インフラ上の理由により特別に利用する必要がある場合を除き行われません。サービスを実行する 3 つのマシンすべてに管理者権限のあるドメイン サービス アカウントが使用されます。

手順の概要

1. Machine1 の QlikView Server のインプレース アップグレード実施
 - a. QlikView Server 9 の削除
 - b. QlikView Server と QlikView Directory Service Connector 10/11 のインストール
2. *QlikView Distribution Service* と *QlikView Management Service* の Machine3 への移動
 - a. *QlikView Distribution Service* と *QlikView Management Service* 10/11 のインストール
 - b. QlikView Publisher データベース (QVPR)、QlikView Publisher のライセンス、Source Documents フォルダのインポートおよび移行
 - c. *QlikView Enterprise Management Console* (バージョン 11 の場合は QlikView Management Console) での QDS、QVS、DSC の再構成
3. QlikView WebServer の Machine2 への移動
 - a. QlikView WebServer のコンポーネントや IIS のコンポーネントのインストール
 - b. QlikView Enterprise Management Console (バージョン 11 の場合は QlikView Management Console) での QVWS の再構成

ステップ 1 : Machine1

Machine1 にて *QlikView Server* と *Directory Service Connector* のインプレース アップグレードを開始します。アップグレードと他のマシンへの移行を開始する前に、構成ファイルをバックアップします。

1. すべての QlikView Server のサービスを停止します。
2. この構成で他のマシンへ移行するための設定とデータベースのバックアップを作成します。
 - a. アンインストールを開始する前に、以下のフォルダ全体のバックアップコピーを作成します。
 - i. Windows Server 2003/XP : C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥QlikTech
 - ii. Windows Server 2008/Vista/7 : C:¥ProgramData¥QlikTech

注 : QlikView Server をアンインストールしても、アプリケーション データ フォルダからデータは削除されませんが、念のためバックアップを取得しておいてください。

- b. User Documents と Source Documents が、上記ステップにてバックアップしたアプリケーション データ フォルダ以外にある場合、それらをすべてバックアップします。後で移行が容易になるよう、フォルダ構造をそのまま維持するようにしてください。
 - c. Windows の[Start]→[Run..]→[Regedit]から Windows Registry Editor を開き、次のキー全体のコピーをエクスポートします。
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥QlikTech¥QlikViewServer¥Settings 7。
これは QlikView Server サービスのための設定です。
3. QlikView Server 9 のすべてのサービスをアンインストールします。
 4. QlikView Server 10 をインストールします。ただし、以下のサービスのみをインストールしてください。
 - a. QlikView Server
 - b. Directory Service Connector
 5. マシンを再起動します。これはインプレース アップグレードであるため、QlikView Server はサービスの起動時に、バージョン 9 の古いレジストリにある設定を新しい Settings.ini 構成ファイルにコピーします。Directory Service Connector の設定は QVPR データベースに保存されているため、移行されません。

ステップ 2 : Machine3

次に、Machine3 に QlikView Distribution Service および Management Service をインストールし、QlikView Publisher の設定をこのマシンに移行します。Management Service の稼働後、QlikView Enterprise Management Console からリファレンスを更新することによって、QlikView Server と Directory Service Connector サービスのアップグレードの検証を開始します。

1. QlikView Server 10 をインストールします。ただし、以下のサービスのみをインストールしてください。
 - a. Distribution Service
 - b. Management Service
2. Machine1 の以下のフォルダから以下の項目をコピーし、Machine3 の全く同じパスのフォルダに配置します。
 - a. Windows Server 2003/XP : C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥QlikTech¥Publisher¥CommandCenter
 - b. Windows Server 2008/Vista/7 : C:¥ProgramData¥QlikTech¥Publisher¥CommandCenter
3. Management Service 10/11 にバージョン 9 のデータベースを認識させ、データベースを 10/11 に移行します。また同時に、Publisher のライセンス情報を新しいマシンに移動します。ファイルとフォルダは以下の通りです。
 - a. フォルダ QVPR とそのフォルダ内の全ファイル
 - b. ファイル qvpr_Machine1.ini
 - c. フォルダ Publisher LEF
 - d. ファイル reginfo.txt

4. 新しい *qvpr_Machine1.ini* ファイルの名前を *qvpr_Machine3.ini* に変更します。
5. マシンを再起動します。
6. ここで、すべての Source Documents とそのフォルダ構造を *Machine1* から *Machine3* へ移動します。以下のいずれかのフォルダに Source Documents フォルダが新たに作成されます (Machine3 に作成されていない場合は、手作業で作成してください)。
 - a. *Windows Server 2003/XP : C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\QlikTech*
 - b. *Windows Server 2008/Vista/7 : C:\ProgramData\QlikTech*
7. QlikView Management Service 10 は初回の起動時に、バージョン 9 のレガシーフォルダ構造にある QVPR データベースを発見し、移行します。 *qvpr_Machine3.ini* ファイルの名前が *qvpr_Machine3.migrated.ini* に変更されたことを確認してください。これは、QVPR データベースが移行されたことを表しています。また、QVPR フォルダの *About.xml* ファイルを開き、データベースの新しいバージョンを確認します。
8. 次に、新しいマシンに合わせて Distribution Service を再構成します。 *Enterprise Management Console* を開きます。
 - a. [System]→[Setup]→[Distribution Services]と移動し、QDS が配置された新しいマシン名が反映されるよう、URL 値を変更します。
 - i. QlikView Server 10 : *http://Machine3:4720/qtxs.asmx*
 - ii. QlikView Server 11 : *http://Machine3:4720/QDS/Service*
 - b. [Apply]をクリックし、*Machine3* の *Windows Services Console* から *QlikView Distribution Service* を手動で再起動します。
 - c. [System]→[Setup]→[Distribution Services]→[QDS@Machine3]→[General]と移動し、新しいマシンの Source Documents フォルダを反映するよう、[Source Folders]リストを変更します。[Apply]をクリックします。
9. この構成で QlikView Server サービスを検証します。
 - a. [System]→[Setup]→[QlikView Servers]と移動し、QVS が存在する正しいマシン名、*qvp://Machine1* を URL 値が反映していることを確認します。アップグレードした QlikView Server 10 のサービスは移動していないため、この名称は変更されません。
10. この構成で QlikView Distribution Service を検証します。
 - a. [System]→[Setup]→[Directory Service Connectors]と移動し、DSC が存在する正しいマシン名を URL 値が反映していることを確認します。アップグレードした Directory Service Connector 10 のサービスは移動していないため、この名称は変更されません。
 - i. QlikView Server 10 : *http://Machine1:4730/qt ds.asmx*
 - ii. QlikView Server 11 : *http://Machine1:4730/DSC/Service*
 - b. [Apply]をクリックします。
11. [Status]→[Tasks]→[QDS@Machine3]と移動し、Source Documents でタスクを見つけます。注 : [Documents]→[Source Documents]の<Orphans>フォルダでしかタスクを発見できない場合、それは Distribution Service の Source フォルダが正しくマッピングされていないためです。新しいマシンでフォルダが正しくマッピングされていることを確認してください。

ステップ 3 : Machine2

この最後のステップでは、Machine2 に Web サーバーのコンポーネントをインストールし、Enterprise Management Console と Management Service からその設定にアクセスできることを確認します。さらに、Accesspoint が使用する QlikView Server へのマッピングを更新します。

1. IIS を使用する場合

- a. 旧 QlikView Server のインストール環境で使用されていた古い Web サイトや仮想ディレクトリが IIS に残っていないことを確認します。また、QlikView Web サイトとしての機能を果たす Web サイトが少なくとも 1 つは稼動していることを確認します。

2. QlikView Server 10 をインストールします。ただし、以下のサービスのみをインストールしてください。

a. WebServer

注：IIS を使用している場合、インストール中に必ず IIS を選択してください。インストーラーでオプション[Config]を使用する場合は、必ず QlikView Server Client ファイルもインストールしてください。

3. マシンを再起動します。

4. 次に、新しいマシンに合わせて Web サーバーを再構成します。

- a. [System]→[Setup]→[QlikView Web Servers]と移動し、QlikView WebServer と IIS のある正しいマシン名が反映されるよう、URL 値を変更します。

i. QlikView WebServer を使用する場合

1. QlikView Server 10 : `http://Machine2:4750/qvws.asmx`
2. QlikView Server 11 : `http://Machine2:4750/QVWS/Service`

ii. IIS を使用する場合

1. `http://Machine2/QvAjaxZfc/AccesspointSettings.aspx`

注：何らかの理由で QMS が Web サーバーにアクセスできない場合、aspx ページとディレクトリ QvAjaxZfc のセキュリティ設定が [Windows Authentication only] に設定されていることを確認してください。

- b. [Apply]をクリックします。

- c. [System]→[Setup]→[QlikView Web Servers]→[QVWS@Machine2]→[Summary]と移動し、Web サーバーが適切に応答することを確認します。

- d. [System] → [Setup] → [QlikView Web Servers] → [QVWS@Machine2] → [AccessPoint]と移動し、[Server Connections]の下で Accesspoint が適切に機能しない QVS を選択します。[Load Balancing]設定は、QVS クラスタを使用している場合にのみ適用されることに注意してください。[Apply]をクリックします。

5. Web ブラウザを開き、`http://Machine2/qlikview` で Accesspoint を参照することで確認します。

QlikView Server 10/11 へのアップグレードは完了しました。

セクション 5 : QlikView サービスの再配置

このセクションは、バージョン 10 または 11 の既存環境を、あるマシンから別のマシンに移行する QlikView 管理者を対象としています。また、本ドキュメントのセクション 4 にて取り上げた複数マシンの導入移行に関する理解を支援する内容も記載されています。このセクションは、QlikView サーバー側の 4 サービス（QlikView Server サービス、Directory Service Connector サービス、WebServer サービス、および Distribution Service サービス）を再配置するためのベストプラクティスについて説明します。

QlikView Server 10/11

現行のインストール : QlikView Server 10/11

OS : Windows Server 2008 R2 x64

シナリオ

これは、すべての QlikView Server 10/11 のサービスが現在同一サーバー、Machine1 に存在する複数マシン構成です。QlikView Server サービスを Machine1 から Machine2 に移動し、設定を新しいマシンへ移行します。

手順の概要

1. QlikView Server の *Machine2* へのインストール
2. 設定の移行
3. 環境の再構成
4. *Machine1* のアンインストール

ステップ 1 : QlikView Server サービスの *Machine2* へのインストール

1. Windows Services Console から *Machine1* の QlikView Server サービスを停止します。
2. *Machine2* で QlikView Server 10/11 のインストール パッケージを実行します。以下のサービスのみインストールしてください。

- a. QlikView Server

注: インストール中はオプション[Config]を使用して QlikView Server のみを選択します。QlikView Server Role/Profile を選択し、オプション[Config]を使用しない場合は、QlikView Server と Directory Service Connector の両方が自動的にインストールされます。

3. *Machine2* を再起動します。再起動後、サービスは自動的に起動されます。

ステップ 2 : 設定の移行

- Windows Services Console から *Machine2* の QlikView Server サービスを停止します。
- Machine1* から、*Machine1* にある以下のファイルを *Machine2* の同じディレクトリにコピーします。
 - Settings.ini* を以下からコピーします。
 - Windows Server 2003/XP : C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\QlikTech\QlikViewServer
 - Windows Server 2008/Vista/7 : C:\ProgramData\QlikTech\QlikViewServer
 - CalData.pgo* ファイル（もしくは、*Machine1* で Document Root Folder として構成されるフォルダ）を以下からコピーします。
 - Windows Server 2003/XP : C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\QlikTech\Documents
 - Windows Server 2008/Vista/7 : C:\ProgramData\QlikTech\Documents
 - Lef.txt* を以下からコピーします。
 - Windows Server 2003/XP : C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\QlikTech
 - Windows Server 2008/Vista/7 : C:\ProgramData\QlikTech
- Machine2* にて、User Documents を以下の通り配置します。
 - ドキュメントのルートフォルダ、および *Machine1* で構成され、*Machine2* に適用可能な Mounted Folder を確認します。それらがローカルフォルダでない場合、参照されるリモートの共有フォルダへのアクセスを確認します。
 - 必要であれば、*Machine1* の User Documents フォルダから *Machine2* の対応するフォルダへユーザードキュメントをコピーします。
- Windows Services Console から *Machine2* の QlikView Server サービスを起動します。

ステップ 3 : 環境の再構成

- QlikView Enterprise Management Console* (バージョン 11 の場合は *QlikView Management Console*) を開き、[System]→[Setup]→[QlikView Servers] と移動します。URL、*qvp://Machine2* を入力し、新しい QlikView Server を追加します。
- [System]→[Setup]→[QlikView Web Servers]→[Accesspoint]→[Server Connections] と移動し、新しい QlikView Server、*QVS@Machine2* を選択します。
- 必要であれば、[Documents]→[Source Documents]→[QDS@Machine1]→[(document.qvw)]→[(task)]→[Distribute]→[Manually] と移動してタスクの Distribution Target を変更し、[Distribute to QlikView Server]の下で Server および Mount 値を変更します。

ステップ 4 : Machine1 のアンインストール

- QlikView Server 10/11 のインストール パッケージを実行するか、または Windows の [Control Panel] を使用して、QlikView Server サービスを *Machine1* からのみアンインストールします。オプション [Modify] を使用して [QlikView Server only] の選択を解除してください。

注：インストーラーのオプション[Remove]を使用した場合、すべての QlikView サービスがインストールされます！

Directory Service Connector 10/11

現行のインストール：QlikView Server 10/11

OS：Windows Server 2008 R2 x64

シナリオ

このシナリオは、QlikView Server 10/11 のサービスが現在 Machine1 と Machine2 に存在する複数マシン構成の続きです。Directory Service Connector サービスを Machine1 から Machine2 に移動し、設定を新しいマシンへ移行します。

手順の概要

1. Directory Service Connector の Machine2 へのインストール
2. 環境の再構成
3. Machine1 のアンインストール

ステップ 1：Directory Service Connector の Machine2 へのインストール

1. Windows Services Console から Machine1 の QlikView Directory Service Connector サービスを停止します。
2. Machine2 で QlikView Server 10/11 のインストール パッケージを実行します。以下のサービスのみインストールしてください。
 - a. Directory Service Connector

注：インストール中はオプション[Config]を使用して Directory Service Connector のみを選択します。インストーラーには、別の Directory Service Connector Role/Profile はありません。
3. Machine2 を再起動します。再起動後、サービスは自動的に起動されます。

ステップ 2：環境の再構成

1. 注：Directory Service Connector の設定は Management Service の QVPR データベースに保存されているため、移行する必要はありません。
2. ここで、新しい Directory Service Connector サービスを使用するよう、環境を再構成します。これは、サービスに対する URL を変更するだけで完了します。QlikView Enterprise Management Console を開き、[System]→[Setup]→[Directory Service Connectors]と移動し、既存の Directory Service Connector サービスの URL を以下の通りに変更します。
 - a. QlikView Server 10：http://Machine2:4730/qtds.asmx
 - b. QlikView Server 11：http://Machine2:4730/DSC/Service

ステップ 3：Machine1 のアンインストール

1. QlikView Server 10/11 のインストール パッケージを実行するか、または Windows の [Control Panel]を使用して、Directory Service Connector サービスを Machine1 からのみアンインストールします。オプション[Modify]を使用して、以下のコンポーネントの選択を解除してください。

a. Directory Service Connector

注：インストーラーのオプション[Remove]を使用した場合、すべての QlikView サービスがインストールされます！

QlikView WebServer 10/11

現行のインストール：QlikView Server 10/11

OS：Windows Server 2008 R2 x64

シナリオ

このシナリオは、QlikView Server 10/11 のサービスが現在 Machine1 と Machine2 に存在する複数マシン構成の続きです。QlikView WebServer サービスを Machine1 から Machine2 に移動し、設定を新しいマシンへ移行します。

手順の概要

1. QlikView WebServer の Machine2 へのインストール
2. 設定の移行
3. 環境の再構成
4. Machine1 のアンインストール

ステップ 1：QlikView WebServer の Machine2 へのインストール

1. Windows Services Console から Machine1 の QlikView WebServer サービスを停止します。
2. Machine2 で QlikView Server 10/11 のインストール パッケージを実行します。以下の Role/Profile のみインストールしてください。
 - a. QlikView WebServer (バージョン 11 の WebServer)注：インストール中にオプション[Config]を使用する場合、オプション[QlikView Server Client files]も同様に選択してください。
3. Machine2 を再起動します。再起動後、サービスは自動的に起動されます。

ステップ 2：設定の移行

1. Windows Services 管理インターフェースを通じて QlikView WebServer サービスを停止します。
2. Machine2 にて、以下のいずれかのフォルダにあるファイル、config.xml をバックアップコピーします。
 - a. Windows Server 2003/XP：C:\%Documents and Settings%\All Users%\Application Data\QlikTech\WebServer
 - b. Windows Server 2008/Vista/7：C:\%ProgramData%\QlikTech\WebServer
3. Machine1 にて、以下のいずれかのフォルダにあるファイル、config.xml をコピーします。
 - a. Windows Server 2003/XP：C:\%Documents and Settings%\All Users%\Application Data\QlikTech\WebServer
 - b. Windows Server 2008/Vista/7：C:\%ProgramData%\QlikTech\WebServer
4. Machine2 でも同じ場所にある場合は、古いファイルを置き換えます。

5. ファイル *config.xml* をテキストエディタで開きます。文字列 *Machine1* の出現をすべて *Machine2* に置き換え、ファイルを保存して閉じます。
6. Windows Services 管理インターフェースを通じて QlikView WebServer サービスを起動します。

ステップ 2 : 環境の再構成

1. ここでは、新しい WebServer を使用するための環境を再構成します。これは、サービスに対する URL を変更するだけで完了します。QlikView Enterprise Management Console を開き、[System]→[Setup]→[QlikView Web Servers]と移動し、既存の WebServer の URL を以下の通りに変更します。
 - a. QlikView Server 10 : *http://Machine2:4750/qtws.asmx*
 - b. QlikView Server 11 : *http://Machine2:4750/QVWS/Service*
2. [System]→[Setup]→[QlikView Web Servers]→[QVWS@Machine2]→[AccessPoint]と移動し、AccessPoint が通信する正しい QlikView Server (この場合は *QVS@Machine2*) を選択します。

ステップ 3 : Machine1 のアンインストール

1. QlikView Server 10/11 のインストール パッケージを実行するか、または Windows の [Control Panel]を使用して、QlikView WebServer サービスを *Machine1* からのみアンインストールします。オプション[Modify]を使用して、以下のコンポーネントの選択を解除してください。
 - a. QlikView WebServer

注 : インストーラーのオプション[Remove]を使用した場合、すべての QlikView サービスがインストールされます !

Distribution Service 10/11

現行のインストール : QlikView Server 10/11
OS : Windows Server 2008 R2 x64

シナリオ

このシナリオは、QlikView Server 10 のサービスが現在 *Machine1* と *Machine2* に存在する複数マシン構成の続きです。QlikView Distribution Service を *Machine1* から *Machine2* に移動し、設定を新しいマシンへ移行します。

手順の概要

1. QlikView Distribution Service の *Machine2* へのインストール
2. 環境の再構成
3. *Machine1* のアンインストール

ステップ 1 : QlikView Distribution Service の Machine2 へのインストール

1. Windows Services Console から *Machine1* の QlikView Distribution Service を停止します。
2. *Machine2* で QlikView Server 10/11 のインストール パッケージを実行します。以下の Role のみインストールしてください。

- a. *Distribution Service* (バージョン 11 の Reload/Distribution Engine)
3. *Machine2* を再起動します。再起動後、サービスは自動的に起動されます。

ステップ 2 : 環境の再構成

1. *Directory Service* の設定を移行する必要がないことに注意してください。設定は、*Management Service* の *QVPR* データベースに保存されているためです。
2. 新しい *Distribution Service* を使用するための環境を再構成します。これは、サービスに対する URL を変更するだけで完了します。QlikView *Enterprise Management Console* を開き、[System]→[Setup]→[Distribution Services]と移動し、既存の *Distribution Service* の URL を以下の通りに変更します。
 - a. QlikView Server 10 : `http://Machine2:4720/qtxs.asmx`
 - b. QlikView Server 11 : `http://Machine2:4720/QDS/Service`

ステップ 3 : *Machine1* のアンインストール

QlikView Server 10/11 のインストール パッケージを実行するか、または Windows の[Control Panel]を使用して、QlikView *Distribution Service* を *Machine1* からのみアンインストールします。オプション[Modify]を使用して、以下のコンポーネントの選択を解除してください。

- a. *Distribution Service*

注 : インストーラーのオプション[Remove]を使用した場合、すべての QlikView サービスがインストールされます !

最新情報

移行およびアップグレード手順に関する最新の情報については、QlikView Community の Web サイトをご参照ください。